

政策会議の議事要旨

1 開催日時 令和3年(2021年)5月11日(月)10:45~11:35

2 出席者 知事、太田副知事、公営企業管理者、教育長、危機管理部長、企画振興部長、総務部長、県民文化部長、健康福祉部長、環境部長、産業政策監兼産業労働部長、観光部長、農政部長、林務部長、建設部長、会計管理者兼会計局長

3 議事等

議題	新たな行政・財政改革方針の策定について
担当部局	総務部
概要	新たな行政・財政改革方針策定にあたり、全庁的な議論を行うため、今後の進め方などについて認識を共有する
主な意見等	<ul style="list-style-type: none">・新たな方針の策定にあたり、組織の定義が必要。単なる労働力の塊としての組織なのか、自分たちが働きやすい組織なのか、目指すべき長野県の姿に向かって取り組む組織なのか、ベクトルを合わせて議論をしていくべき。・職員満足度調査は、あくまで行政サービスを供給している側の満足度調査。県民、市町村の満足度をどう把握し反映させるかという点も重要。・方針の策定はゼロベースで始める話ではない。これまでも取り組んできたものがある。これまでの行政改革・財政改革の成果を職員に示さないと改革に対する職員のモチベーションが下がるし、策定の議論が停滞する。・職場風土を変えなければならない。改革にあたっては、どのような組織風土にしたいのか職員間で共有することが必要。・従来の行政改革は、県全体を考えるマクロ的なアプローチが強かった。職員満足度調査結果を踏まえ、職員がどう考え、行動しているかといった、個々の職員視点のミクロ的なアプローチも進めること。
協議の結果	認識を共有